

科目名		建築施工Ⅰ			
担当教員	渡部 和久		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築施工の概要と建築物の基礎の重要性を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、環境に適した各工法の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。				
学習目標 (到達目標)	建築現場における現場の進み方や方法など、各職種ごとに学ぶ。前期は建築のしくみから地業・基礎工事までの流れを学ぶ。工事を通じ建築に必要な専門用語も習得していく。 また、建築士2級の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①図説 やさしい建築施工、配布プリント等				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	建築施工とは ①建築施工の概要。 ②建築に携わる人々と建築のしくみ。 （設計→施工の流れとしくみ） ③建築物の施工形態		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	地盤調査・測量 ①着工準備に伴う、地盤調査の種類 ②測量機器の種類		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	仮設工事 ①着工前準備工事の共通仮設工事・ ②直接仮設工事の違い、 ③確認問題		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 確認問題を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習		
4	土工事 ①土工事に関する、掘削方法や山留め、排水と必要性 ③確認問題		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 確認問題を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～②を理解する 準備学習：教科書①の予習		
	小テスト①		項目1～4から抜粋し小テストで理解度の確認。解答→解説を行う。		
5	基礎地業工事 ①杭・基礎工事の種類、分類など建築物施工の基礎について ②確認問題		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 確認問題を加え答練しより理解度を深める 達成目標：項目①～③を理解する 準備学習：教科書①の予習		
6	積算 ①建築物の費用に関する概算見積もりと算出方法 ②単価の積み上げによる建築工事全体の価格設定		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
7	施工計画・施工管理 ①施工計画・品質管理・原価管理の必要性和重要性 ②工程計画・工程管理・安全・環境管理の必要性、重要性。		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
8	小テスト②		項目5～7から抜粋し小テストで理解度の確認。解答→解説を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末テストの点に加え、小テスト、授業態度、出席率の内容を総合的に評価 期末試験70%、小テスト20%、授業態度・出席率10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			施工は！建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	1級建築士として、建築現場監督業務に約10年携わる。				